

## 2026\_0415「仕事机バードウォッチング」日々の理科 4266号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

職場でのささやかな楽しみの一つが、仕事机から行うバードウォッチングです。窓の外には大きなケヤキの樹が立ち、その枝ぶりがよく見えます。都心の一角でありながら、この樹には実に多様な野鳥が訪れ、季節ごとに異なる表情を見せてくれます。

この日目に留まったのはヒヨドリでした。灰褐色の体は樹皮や枝とよく似た色合いで、いわゆる保護色となり、じっとしていると見失ってしまいそうです。ケヤキの芽吹きの新緑の中にたえずむ姿は、春の訪れと調和して印象的でした。

ところで、このヒヨドリがオスかメスかは見た目では判別できません。ヒヨドリは雌雄同色で、外見上の差がほとんどないためです。観察をしていると、すぐ近くの枝にオナガも現れ、互いに距離を取りながら威嚇し合う様子が見られました。両者は体の大きさがほぼ同じで、微妙な緊張関係が成立していることがうかがえます。

こうしたやりとりを間近に観察できるのも、この場所ならではのです。日々の仕事の合間、ふと視線を外に向けただけで、都市の中に息づく自然の営みに触れられることは、何よりの気分転換であり、小さな発見の積み重ねでもあります。

(2026年4月中旬／文京区お茶の水女子大学構内)

